

(第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ プレカンファレンス)

日本リハビリテーション工学協会・全国頸髄損傷者連絡会・ケアリフォームシステム研究会
合同シンポジウム

日 時 : 2018年3月3日(土) 13:00 ~ 16:00 (予定)

場 所 : 厚木市文化会館(神奈川県厚木市、小田急線本厚木駅 徒歩13分)
<http://atsugi-bunka.jp/guide/>

イベント名: 『重度身体障害者の過去・現在・未来』

参加費: 無料

内 容 : 近年、ロボット技術の応用により高度な福祉用具が開発されつつある。また、2004年の合同シンポジウムにおいて、東京頸髄損傷者連絡会が発表した「未来予想 2025年の福祉機器生活」から、10年以上の歳月が経過した。本シンポジウムでは過去の未来予測を振り返り、「何が実現し、どこに課題が残っているか」を検証しつつ、未来の福祉用具に対し何を求め、福祉用具開発にどの様に関わっていけばよいか、様々な立場から検討する。これらの議論を基に、8月に行われる第33回リハ工学カンファレンスにつなげていきたい。

プログラム (予定)

13:00~ 受付

13:30~13:40 開会式

13:40~14:00 (20分)

『未来予想 ~2025年の福祉機器生活~』と現実となった未来」

全国頸髄損傷者連絡会・一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 麩澤 孝

14:00~14:20 (20分)

「スマートホームの現状と近未来」(仮)

パナソニックエイジフリー(株) マーケティング本部 統括部長 松沢 充

14:20~14:40 (20分)

「ロボットの福祉分野参入」(仮)

現在、調整中

14:40~14:55 (15分)

休憩

14：55～15：40（45分）

パネルディスカッション（テーマ調製中）

15：40～15：50 閉会式

プログラムは変更になる場合があります。

【事務局】

神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部内
第33回リハ工学カンファレンス事務局（担当：村田）

conf-33@resja.or.jp

東京頸髄損傷者連絡会（担当：麩澤）

tokyokeison2012@gmail.com

・詳細は改めてお知らせいたします。